

放射線技術部だより

白十字病院 放射線技術部 広報誌



本号の記事：

白十字リハビリ病院紹介 - 1-2ページ
新人技師 - 3ページ

白十字リハビリテーション病院の紹介

2022年8月より、白十字リハビリテーション病院は新築移転しました。白十字病院などの急性期病院で治療を終え、退院後も自宅で普段の生活が続けられるように機能回復を目指した病院です。院内では入院患者の皆さんが様々な訓練に励んでいる様子が見られます。

放射線技術部はX線一般撮影装置やX線透視装置が一新され、新しい建物・新しい機械と、気持ち新たに我々、診療放射線技師もリハビリに励む皆様の支えになるよう尽力しております。

主な検査紹介



嚥下造影（VF）

X線を照射中にバリウムを混ぜた硬さの異なる食べ物を食べてもらい、嚥下(飲み込む力)の評価をします。

食べ物が誤って気管に入ることによって起こる誤嚥性肺炎を防ぐのに重要な検査を行っています。

一般撮影

X線を使って、リハビリで入院をされている患者さんの胸部、腹部、骨等レントゲン写真を撮影し、経過観察をしています。



CT検査

全身を素早く検査できる80列の検出器を備えた高性能CTで様々な画像を提供しています。

新人技師 Vol.1

令和4年度の新入職員、下田技師の成長記録（全3回）

新人教育の仕組み

白十字会では新人が入職するとOJTと呼ばれる先輩が指導者としてフォローを行う制度があり、一年を通して一人前の診療放射線技師へなるためのお手伝いをします。

その他にも新人研修を始め、三年次研修まで定期的に研修が行われたり、個人の年間目標をたて、上司が目標達成をサポートするシステムなど、職員の教育に力を入れています。



Q & A

Q1.職場には慣れましたか？

A.明るく活気がある職場で、すぐ馴染みました。わからないことがあれば先輩方が丁寧に指導してもらえますし、マニュアルもあるので、一年目でも安心して業務を行う事が出来ています。

Q2.一年目はどんな仕事をするのですか？

A.OJTの先輩を中心に年間スケジュールをたてて、各モダリティを覚えていきます。当直に向け一般撮影、CT、MRIを一人で業務を行えるようになる必要があるため優先的に覚えていきます。8月から緊急の心カテ待機も任されるようになり、日々出来ることが増えていく喜びと責任を感じています。

Q3.一年後の目標はありますか？

A.基礎をしっかりと学び、救急外来など緊急を有する状況でも最適な撮影を瞬時に判断し、医師の診断に役立つ画像を素早く提供できる技師になりたいです。